



先っぽをグリグリっと…
おや？ 目覚めたか？
まあ気にせずそのまま横になつておれ。

お主は疲れておるようだからのう。
結婚式が終わつて
すぐ寝てしまふくらいだからな。
余に全て任せとおれ♡



…そんなに慌てることでは
ないであろう。
：ゴムを付けてない…？
大丈夫だろう。
余に子どもができるか
わからぬからな。
ふむ、では確かめてみるか。





おお♡入った入った♡

腹の奥まで突き上げられておる♡
：苦しくないか、だよ？
それはお主の方である。

余の狭くてキツキツの膣内に
無理やり入れられておるのだ。
全方向から締め付けられて
苦しいであろう？

うむ、そうであろうな。
では、その苦しみを少しでも
和らげてやろう♡





さらに苦しくなっただと?
おかしいのう。

では、もっと動いてやらねばな♡

気にするでない。

今日は余に全部任せておけば
よいのだ♡





また大きくなつたな♡
自ら苦しくなろうとするとは、
いい趣味をしておるな♡

：そうではない、とな？
なるほど。もう果てそうなのだな?
ちと早すぎではないか。
仕方ないやつだのう。

ほれ、さつさと子種を出せ♡
余がすべて受け止めてやろう♡







どうしたの?
一度だけで満足するはずがなかろう
それに、余の子宮のナカは
満たされておらぬ

ほおれ
もつと頑張るのだ





んあつ…もつと子種をよこすのだ♥
余をちゃんと孕ませよつ♪♥
また子宮に押し付けて♪
奥にしつかりと…出すのだぞ…つ♥









うむ♡
おなかの中がお主のモノで
いっぱいだ♡
これだけ出されたら
孕んでしまうかもな♡



心配することは無い。
子どもができる体なのか
わからぬからな♡
まあ、もしできてしまっても
お主の子ならかまわぬがな♡
おや、お主の子種があふれてしまつたな。
こぼれてしまつた分を
補充してもらわねばな♡
また濃いの出すのだぞ♡